

デマンド導入先進事例地 視察報告

視察日：平成25年8月14日(水)

視察地：三重県度会郡玉城町（人口：約1.6万人、面積：40.9km²）

◆運用状況

- ・利用者数：約2.6万人（平成24年）
- ・民間路線：役場と伊勢市駅間の1路線のみ。路線補助実施
- ・運行路線：町内152箇所にバス停を設置（デマンド：バス停まで）
- ・運行日：年末年始運休以外は平日、土日休日は運行している。
- ・運行時間：9:00~17:00



福祉協議会訪問：元気バス他

◆生活福祉課挨拶：中村課長

- ・高齢者の交流促進、外出支援による介護保険低減を期待して町内で無料の「元気」バスを運行している。
- ・無料バス導入にあたって、当時、福祉協議会を主体としてデマンドシステムを導入した。

◆概要説明：生活福祉課坂出主査

- ：「ICTを利用した安心・元気な町づくり事業」
- ：「説明用ビデオ上演」



玉城町訪問：概要説明

◆主な質疑応答

平：現行のデマンドシステム導入までにデマンドタクシーなどの検討はしなかったのか。

玉：運行主体が福祉協議会なので当初から民間委託は考えなかった。

平：バス運行に関する町の年間予算は

玉：年間約2,000万を福祉協議会へ

内訳は人件費1,000万（OP2名、運転手2名）、維持費150万、燃料費200万等

平：システム費用は

玉：システム開発は5,000万の補助事業で対応、システム改修と端末機器リース及びサーバーリース費の月6万を含む維持費として、年間150万を東大と福祉協議会が契約している。

平：費用は町単費か。

玉：「元気バス」運行費用は町単費で、国・県の補助は受けていない。

平：運行体制はどうなっているのか。

玉：福祉協議会職員のオペレータ2名、運転手5名で運行（元気バス費用負担は2名）、町職員は運行に直接関与していない。

平：運転者の採用条件は

玉：白ナンバーのワゴン車なので普通免許があれば特に条件は設けていない。

但し、結果としてバスやタクシー運転経験者を採用している。

平：無料化、運行時間等に対する一般の方から不公平感の意見はなかったのか。

玉：一般の方からは特に反対意見はなし、町内のタクシー会社には個別に説明に出向いた。

JR 駅にはバス停を設けないことでタクシー会社に配慮している。

議会でも平成26年度までは無料運行で合意済み。その後も無料の方向である。

年間約2.6万人、月約2,100人を有料化すると利用者が1/3に減少する予想もあって、200~300万の収入よりも、高齢者福祉の移動の利便性を阻害することでは意味がないと判断された。

平：事前の住民説明の方法は。

玉：予約制の説明がメインだったので最初は 65 歳以上の高齢者を対象として、町・福祉協議会合同で開催した。その後一般の方にも説明会を開催している。

平：バス利用の属性は

玉：登録者のほとんどが高齢者、一部車を持たない方もいるが、通勤、通学利用は無い。

利用者の目的地は、多い順に福祉会館、温泉施設、町立病院、スーパー、JR 各駅

平：通学関係は

玉：町内の 4 つの小学校は徒歩通学、1 つの中学は徒歩と自転車通学。

平：運行に対する要望窓口は

玉：個人の意見は受け付けていない。自治会経由での意見として町や福祉協議会で受け付けている。

平：陸運局の許認可関係はどうなっているのか。

玉：白ナンバーなので許認可は取得していない。有料化した場合は許認可を取得する必要があることや、路線を決める必要がある等、現行のサービス提供はできないと思う。

◆玉城町社会福祉協議会：西野事務局長

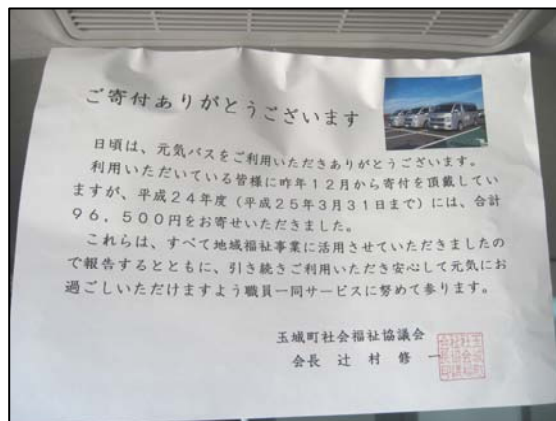
- ・本町のデマンド交通は福祉に特化したスペシャルであり、公共交通の運行としては真似が出来ないのでは。
- ・東大には福祉施策の視点からの利用者分析、施策提案及び乗車率向上のためのシステム改修までを御願している。システム内の利用者データの利用権利はシステム開発者側ある。
デマンド運行開始以来、システムの改良は毎年行っている。
- ・利用者の多くは女性、男性はプライドが邪魔をして自家用車の運転に拘り、運転が出来なくなると元気がなくなる傾向にある。
- ・車両内には募金箱を設置している。(年間寄付金で一月の燃料代程度)



福祉協議会訪問：予約オペレータ



車内：寄付金箱



車内：寄付金御礼